

入間市下水道事業中長期経営計画の見直しについて

■入間市下水道事業中長期経営計画の進捗管理

下水道事業の健全で安定した継続的な事業経営と、経営基盤の強化を図ることを目的に、収支のバランスの取れた 10 年間（平成 29 年度～令和 8 年度）の投資財政計画が含まれた「入間市下水道事業中長期経営計画」を平成 28 年度に策定しました。以降、下水道事業は本計画に基づき運営されており、各年度の決算時に進捗状況を確認し、計画の進行管理を行っているところです。

■中間評価

本計画の「前期経営計画」の最終年度である令和 3 年度において中間評価を実施し、前期 5 年間の状況を踏まえ、後期 5 年間の計画を必要に応じて見直します。当初計画策定時には、投資額に対し、その財源として令和 5 年度に下水道使用料の値上げを見込むことで収支均衡のとれた投資財政計画としましたが、このタイミングで投資額及びその財源について再度検討を行い、改めて収支均衡が図られた投資財政計画へと見直すこととしています。

■前期 5 年（平成 29 年度～令和 3 年度）における計画と実績との比較

計画の見直しが必要であるかを判断するため、前期 5 年間の計画と実績の比較を行った結果、特に大きな乖離が生じているものが次の 2 点です。

① 改築更新事業などの「投資（工事費）」に 5 年間で△8 億 5,800 万円のズレが発生！

この乖離額は、計画していた工事を予定通り実施した上で余剰金が生じているものではなく、ストックマネジメント計画に基づき発生すると見込んでいた改築工事を実施することができなかった結果生じているものです。

計画を策定した時点では、具体的な事業計画であるストックマネジメント計画が未策定であり、改築工事がどのタイミングでどの程度必要になるのかの見込みが困難であったことが影響しています。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
計画値	1.23 億円	1.92 億円	1.87 億円	5.45 億円	5.45 億円	15.92 億円
実績値	0.94 億円	1.29 億円	1.01 億円	1.75 億円	2.35 億円	7.33 億円
乖 離	▲0.29 億円	▲0.63 億円	▲0.86 億円	▲3.70 億円	▲3.10 億円	▲8.58 億円

※ 百万円以下四捨五入のため、合計が一致しない場合があります

※ 実績値は、平成 29 年度～令和元年度が決算値、令和2年度が決算見込値、令和3年度が当初予算値です

② 3年度末時点の「現金預金残高」に＋8億4,000万円のズレが発生！

この乖離額は、前述のとおり改築工事が実施できなかったことなどにより、現金が支出されず内部に留まった結果生じたものです。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
計画値	3.56 億円	4.69 億円	6.49 億円	5.13 億円	4.21 億円
実績値	7.68 億円	7.50 億円	8.96 億円	11.20 億円	12.60 億円
乖 離	＋4.12 億円	＋2.81 億円	＋2.47 億円	＋6.07 億円	＋8.40 億円

※ 百万円以下四捨五入のため、合計が一致しない場合があります

※ 実績値は、平成 29 年度～令和元年度が決算値、令和2年度が決算見込値、令和3年度が当初予算値です

■後期5年計画の見直し

見直しの進め方として、投資額については「入間市下水道ストックマネジメント計画」および「入間市下水道総合地震対策計画」に基づく新たな事業費を、その他の維持管理経費についても現状に応じた事業費を基に、後期5年間の投資試算を策定します。また、新たな投資試算を踏まえ、その財源となる後期5年間の財源試算を策定します。

その後、投資試算と財源試算が均衡しているかを検証し、収支ギャップが生じた場合は事業実施時期の見直しや使用料改定の試算により収支ギャップの解消に努め、収支均衡が図られた投資財政計画を策定します。

つきましては、令和3年度中に上下水道審議会の委員の皆さんに対し途中経過等を含めて説明させていただき、皆さんからのご意見をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。